

報告事項 コ

青谷上寺地遺跡の発掘調査について

青谷上寺地遺跡の発掘調査について、別紙のとおり報告します。

平成19年10月12日

鳥取県教育委員会教育長 中 永 廣 樹

青谷上寺地遺跡の発掘調査について

文 化 課

埋蔵文化財センターでは、遺跡「中心域」の南側範囲の確認及び「中心域」と水田域の境界部分の様相を解明することを目的として発掘調査を実施しています。

このたび、下記のとおり調査成果がありましたので報告します。

記

【調査の成果】

○未解明であった「中心域」南側の区画溝（SD33）に該当する溝を検出し、「中心域」南側の水田域との境界部分を確認した。

1 発掘調査の場所

図面のとおり（調査面積 105㎡）

2 調査期間

平成19年8月1日～10月下旬(予定)

3 検出した区画溝について

【規模】 検出幅 4.9m、検出長 3m

【溝の方向】 SD33と一致

【特徴】 溝の南北両岸を矢板列で護岸

【時期】 弥生時代終末期までに埋没

【その他】 中心域縁辺を区画する溝（SD11、SD33、SD38）と機能や性格が同じと推定される

※区画溝の掘削開始時期などは現在調査中

4 今後の調査

○集落周辺の古環境を明らかにするための「花粉分析」や、水環境および溝の汚染状況を検討するための「珪藻分析」「寄生虫卵分析」などの自然科学分析を行う。

